

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		民生(児童)委員活動費 [民生委員・児童委員活動事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費	事業番号	12	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	福祉推進			課			庶務			係	課長名	山田 茂人
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進								総合計画書(ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	民生委員・児童委員の活動					民生委員・児童委員の数(年度末現在) 55/61(定数)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域で十分な活動ができるよう支援する。					民生委員・児童委員 年間活動日数							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
民生委員・児童委員協議会(民児協)の、会長協議会、単位民児協議会、合同民児協議会等の運営を事務局として支援した。					民生委員・児童委員協議会 会議開催回数 ・会長協議会 11回 ・単位民児協 2回 ・合同民児協 5回							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	56	55	55						
	成果指標	②の数値	日	8069	8204	7149						
	目 標	②の目標値	日	8,000	8,000	8,000						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
平均年間活動日数												
活動指標		③の数値	回	23	22	18						
3 経費	事業費(実績)		円	11,353,346	10,951,191	11,028,212		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,529,346	4,227,491	4,057,912						
		特定財源(国・都・他)	円	6,824,000	6,723,700	6,970,300						
	(うち受益者負担)		円			0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	4,155,000	4,190,000	4,125,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	15,508,346	15,141,191	15,153,212							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和23 年度									
	(2) 環境の変化		民生委員・児童委員の業務は多様化しており、それに伴い負担が大きくなっている。また、その影響などもあり、委員の確保が難しくなっている。									

事業名称	民生(児童)委員活動費 [民生委員・児童委員活動事業]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田 茂人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：②⑤⑥			
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
特になし					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) さまざまな相談が寄せられる中、相談者が民生委員・児童委員に求める事柄も複雑化し、精神的な負担も大きくなっていることから、全国的に「なり手がいない」状況にある。内容の専門化と多様化の中、できる限り問題を早期に的確に把握し支援につなげる必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
特になし					
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
施策名： 地域福祉の推進					
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 特になし				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					